

令和 2年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	村石、小林
	全体計画						経費区分		-		内線	3137、3139
事務事業名	4044 地域活性化事業											
所 属	050200 総務部・政策推進課											
施 策	07023900 特色をいかした地域振興の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	020114 総務費・総務管理費・地域振興費										
	事業	010000 地域活性化事業										
事業目的						事業概要・効果						
地域づくりの理念に基づき、市民との共創で須坂市にしかない地域資源を全国に発信する事業を企画実施し、須坂ブランドを確立し育て、交流人口を増やすとともに市民の誇りや地元愛を醸成する。 婚姻数増を図り、人口を増加させる。						新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び地域経済の回復を図るため、市独自の補助制度を創設する。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
「まち歩き」誘導型情報配信プラットフォーム（須坂まちウォーク）」の運用等による情報発信、「結婚相談事業」の委託や「クリスマスレクチャーin須坂」の開催等により、地域活性化を図った。	「まち歩き誘導型情報配信プラットフォーム（須坂まちウォーク）」による情報発信や「結婚相談事業」の委託、「クリスマスレクチャーin須坂」（科学を中心に各分野から著名な方を招いて講義を行う）の開催等により、地域活性化を図った。
平成29年度 実績	平成30年度 実績
「まち歩き誘導型情報配信プラットフォーム（須坂まちウォーク）」による情報発信や「結婚相談事業」の委託、「クリスマスレクチャーin須坂」（科学を中心に各分野から著名な方を招いて講義を行う）の開催等により、地域活性化を図った。	「まち歩き誘導型情報配信プラットフォーム（須坂まちウォーク）」による情報発信や「結婚支援事業」の委託等により、地域活性化を図った。
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
「結婚支援事業」の委託等により、地域活性化を図った。市内の団体や各町の活動等を番組やSNS等で紹介した。	「結婚支援事業」の委託等により、地域活性化を図る。市内の団体や各町の活動等を番組やSNS等で紹介する。

指標名	須坂まちウォーク						
算式	ダウンロード数					単位	件
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標	1,000	1,000	1,000			
	実績	613	3,458	211			
指標選定の理由	ダウンロード数しか把握ができないため。						
最終年度 目標の根拠							
指標名	結婚支援事業						
算式	交流会のカップル成立数					単位	組
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標	18	36	34	21	14	
	実績	24	53	46	14		
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		8,052	12,107
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	1,743	1,200
	地方債	0	0
	その他	2,700	5,000
一般財源		3,609	5,907
人員数 (人)	正規職員	0.6	0.7
	嘱託職員	0.5	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	4,359.0	5,085.5
	嘱託職員	1,414.5	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	5,773.5	5,085.5
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		13,825.5	17,192.5

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	536	講師謝礼等536
11節 需用費	0	
13節 委託費	2,810	地域情報チャンネル番組制作1,306、結婚支援事業1,504
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	1,991	結婚新生活支援事業補助金1,835、連携中枢都市圏事業（結婚支援）156
その他	2,715	地域づくり団体等活動支援貸付金2,700、費用弁償15

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	500	謝礼500
10節 需用費	30	食糧費30
12節 委託費	3,820	地域情報チャンネル番組制作1,320、結婚支援事業2,500
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	2,557	結婚新生活支援事業補助金2,400、連携中枢都市圏結婚支援事業負担金157
その他	5,200	費用弁償200、地域づくり団体等活動支援貸付金5,000

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	地域活性化を図るためには、須坂の魅力ある様々な地域資源を市民等に情報発信する必要がある。また、少子化対策を推進し、将来まちを担う人材を増やしていく必要がある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	結婚支援事業については、14組のカップルを成立させることができた。今後、結婚に至ることが期待できる。また、グーライトが制作する市に関する番組を市ホームページやSNSで動画として公開することで情報の拡散が期待できる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	結婚支援事業については業務を委託して事務の軽減を図っている。また、結婚支援事業や結婚新生活支援事業補助金については、国や県の補助金を活用している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

結婚支援事業は婚姻数増が目的である。26年10月から事業を実施し、これまで婚姻数は13件だが、30年度は0件、31年度は1件と伸び悩んでいる。未婚・晩婚化は全国的に大きな問題となっており、要因が複雑であるため、婚姻数増を図ることは難しいが、今後ほかの自治体の取組みも参考にしながら事業を構築していく必要がある。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>須坂市にしかない地域資源を全国に発信するには、市民がまず須坂市の良さを認識して、須坂に住むことを誇りに思うことが大切であり、そのための情報発信をする本事業は引き続き継続する必要がある。</p>		<p>結婚支援事業での婚姻数増は難しい面もあるが、事業の見直しを行う中で取り組んでいる。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止、地域経済の回復を図るため、市独自で補助制度を創設した。マイナポイント予約体制を整えた。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	